

脱炭素社会推進フォーラム

脱炭素社会の実現に向け、一人ひとりがアクションを起こす必要があります。

具体的な取組み事例を学び「気がつける」自分、「行動できる」企業を目指しませんか？



2023年
2月21日
10:00～12:00

第1部

講演会・10:00～10:45
脱炭素社会の実現に向けて
今 取り組むべきこと

講師 伊藤 聰子氏



第2部

リレープレゼン・10:50～11:50
今から始める脱炭素！～取組事例のご紹介～
（株）ウェイストボックス／高橋金属（株）／（株）スザキ工業所

会 場 新岐阜県庁舎 1階「ミナモホール」
(岐阜市薮田南 2-1-1)

申込 QRコードからの参加登録が
簡単便利

*メール・FAX でも申込可
(詳細は裏面をご確認ください)



申込フォーム

定 員 500名（先着順・参加無料）

第1部 講演会 講師

伊藤 聰子
Ito Satoko

大学在学中よりキャスターとして活動を開始し、多くの情報・報道番組に出演。
2002年にNYフォーダム大学留学。帰国後は、JICAを通じて国際貢献の現場を視察し、バングラディッシュ、
インド、インドネシア、ベトナムなどにおいて、ビジネスによる社会課題解決のアプローチを取材。
日本の地域においても、東京との格差や地域課題の解決にはビジネスの視点が不可欠と捉え、事業創造
大学院大学にて経営管理修士(MBA)を取得。2010年、同大学の客員教授に就任。
数多くの企業や経営者を取材し続けており、地方創生や企業経営などをテーマに幅広く活動している。
地方創生、エネルギー、地球温暖化対策などについて、国の委員会の議論にも参加。十六フィナンシャル
グループなどの企業の社外役員も務める。

第2部 リレープレゼン 内容

(株)ウェイストボックス

- CO₂排出量の測り方のイメージ
- ESG投資や脱炭素をはじめとする国内外の情勢について(パリ協定、世界の「ネットゼロ合意」に関して)
- カーボンプライシングや脱炭素経営の進め方

高橋金属(株)

- 当社経営方針と脱炭素経営について
- CO₂排出量算定からSBT認証取得まで
- 省エネの取組みとDXを活用した生産性向上による脱炭素アプローチ
- 脱炭素・BCP対策・地域貢献の同時達成に向けて

(株)スザキ工業所

- はじめての脱炭素経営に向けて(何からはじめる?)
- カーボンニュートラル達成計画
- 中小事業者としての省エネ活動事例(二つの目線で考える)
- 取組み結果と今後の検討事項

当フォーラム開催に伴い排出されるCO₂をカーボン・クレジットを購入することによりオフセット(埋め合わせ)します。
参加者の皆様にも、公共交通機関又は自動車の乗り合わせによる移動を推奨しております。ご協力をお願いします。



新型コロナウイルス感染防止への
ご協力のお願い

- 必ずマスクを着用してご来場ください
- 受付に並ぶ際は距離を保ちましょう
- 大声での会話は控えましょう
- 発熱など風邪症状のある方はご遠慮ください

ご入場には「参加登録」が必要となります

申込方法

QRコード QRコードにアクセスいただき
参加申込フォームに記入、送信してください。
FAX 058-272-8407
メール c11268@pref.gifu.lg.jp

簡単便利



お問い合わせ

岐阜県 環境生活部 脱炭素社会推進課
月～金曜日(祝日除く) 8:30～17:15
TEL 058-272-8405
メール c11268@pref.gifu.lg.jp

脱炭素社会推進フォーラム（メール・FAX 参加申込書）

氏名			フリガナ			
ご連絡先	TEL					
	E-mail					
業種						
当日の主な交通手段	電車	路線バス	タクシー	自動車・バイク	自動車・バイク(乗り合わせ)	徒歩・自転車
当日の出発地(市町村名)						

*「当日の主な交通手段」「当日の出発地」は、当フォーラムのカーボンオフセットを実施するための算定に活用します。交通手段は、該当するものを○で囲んで下さい。

*申込書にご記入いただきました個人情報は、フォーラムのご案内のほか感染症対策上の管理業務にのみ使用*し、承諾なく第三者に公開することはありません。

*感染者が発生した場合などに保健所等に提供させていただく場合がございます。